

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 04020050

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	4 住民生活課		
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	資源ごみの適正処理率			#N/A		
事業目標	100%		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	有 容器包装リサイクル法		
住民協働			関係個別計画名	有 一般廃棄物処理基本計画		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	資源廃棄物のうち、有償売却となっていないびん・その他プラスチックの処理について紋別市リサイクルセンターに搬入し、中間処理する。処理に係る協定を締結し、応分の処理負担金を支出するものである。	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金
	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	41,275	7,891	7,891	8,752	8,850
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	6,125	1,235	1,235	1,420	1,000	
一般財源	35,150	6,656	6,656	7,332	7,850	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	41,974	7,681	7,939	8,781	8,843
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	8,357	1,235	1,473	1,961	2,403	
一般財源	33,617	6,446	6,466	6,820	7,445	
関 連 事 項	特定財源の名称					
	資源廃棄物売却収入	【評価・実績】	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみを紋別市リサイクルセンターに搬入し処理しており、それに対する負担金をセンターに支出 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	搬入量 200t	搬入量 200t	搬入量 200t	搬入量 200t
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	101%	111%	100%
	全体達成率	19%	38%	59%	80%	
	備考欄					

事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業	評価者	管理職 職氏名	住民生活課長	安井雅憲
		評価者	作成者 職氏名	環境衛生係長	山口雄也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出する資源ごみ	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説)	資源ごみの適正処理費		
【抱える課題やニーズは】	適切な資源ごみの分別及び収集		① 資源ごみの処理量	目標年度	平成29年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化及びリサイクル率の向上			目標値	51.5 t
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な収集及び処理		実績値	51.5 t	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	紋別リサイクルセンター施設運営費及び維持管理費の支出	町単独では、容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な処理が困難であるため、紋別市との協定に基づく負担金を支出し、資源ごみの搬入及び処理を実施している。	達成度	100.0 %	
			②	目標年度	平成29年度
			目標値		
			実績値		
			達成度		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	容器包装リサイクル法に基づく資源ごみの適正な処理は、町単独では困難であるため、西紋ブロック広域による処理が必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	資源ごみの処理は、適正な処理が行われているため有効である。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	西紋ブロック広域による処理は、紋別市のリサイクルセンターに搬入し、全て適正に処理されており、そのごみ処理手数料は、本事業の財源に充当されているため効率的である。	
		<input type="checkbox"/>		事業費抑制
		<input type="checkbox"/>		人員削減
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減		
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他		

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	全町民を対象としているため公平である。	
		<input type="checkbox"/>		受益者負担がある
		<input type="checkbox"/>		受益者負担がない
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る		
	<input type="checkbox"/>	その他		

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な処理がされている。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町単独では、容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適正な処理が困難であるため、今後も継続して事業を進める必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止